

# 問 幼保無償化スタートによる影響は

## 答 幼保再編整備計画を見直す

**問** 国の幼保教育無償化がスタートする中で、村立保育所・幼稚園等の再編整備計画の影響と石神幼稚園と石神小学校の連携はどのように係わるのか。

**答** 幼児教育・保育の無償化による潜在的なニーズに対応する処置で、令和2年には新保育所を整備する。一方で園児数の減少傾向も踏まえ、再編整備計画の見直しを考えた。石神幼稚園と石神小学校の連携は、今後、子ども・教員の交流、学校施設の活用を通して進めていく。



村上 孝 議員



台風15号による稲の倒伏

**問** 天候不順による米の減収対策は

**答** 自然災害には補助金が交付される

**問** 飼料用米が減収のとき、主食用米で充足する国の米政策は不合理がある。村は国や農業共済組合へどのように働きかけたのか。

**答** 自然災害等による減収には、主食用米を充足することなく補助金が交付される。しかし減収の認定には農業共済組合の圃場確認が必要のため、大規模な農業災害と判断される場合を除き、原則、加入者が収穫前に組合に申告することとなる。

# 問 地域支え合い活動事業の進捗状況

## 答 地域と話し合って進めていく

**問** 近い将来、少子高齢化が進みさまざまな社会的課題が予想される。高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、地域支え合い活動団体補助事業制度が必要と考える。本村では生活支援サービス事業のガイドラインがないが、今後の取り組みは。

**答** 生活支援サービスとして、移動支援・ゴミ出しや清掃といった家事支援について、村民がどのような形を望んでいるか話し合い、進めていく。



みすずの会  
江田 五六 議員



建設から42年経過し、老朽化した外宿浄水場

**問** 石神外宿浄水場の更新工事は

**答** 施設の延命工事を行っている

**問** 水道事業は、村民にとって大切な事業だが、外宿浄水場の耐震・補強・更新工事の取り組みはどうか。近隣自治体では50年を目途に更新工事を行っている。すでに外宿浄水場は42年が経過しているため、計画的な対応が必要と思うが考えは。

**答** 旧配水池・管理棟耐震補強工事及び取水場電気施設更新工事など必要な工事は進めてきた。